

**製品名: SORL1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80606**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	IHC,ICC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	/

**抗原情報**

遺伝子名	SORL1
別名	SORL1
遺伝子 ID	6653.0
SwissProt ID	Q92673
免疫原	大腸菌で発現したヒト SORL1 の精製された組み換え断片。

**背景**

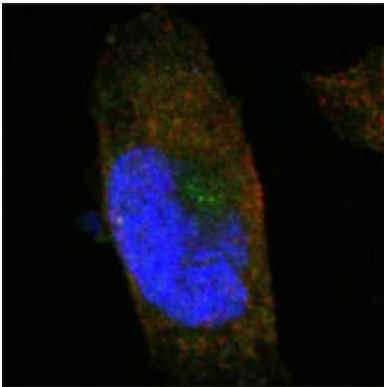
SORL1 (ソルチリン関連受容体、L A リピート含有) は、LDLR クラス A 含有選別タンパク質関連受容体 (SorLA) としても知られ、細胞間相互作用に関与している可能性がある I 型膜タンパク質です。単一膜貫通受容体である SorLA は、LDL に結合し、エンドサイ

トーシスによって細胞に輸送します。SorLA はプロ受容体として合成され、フューリン様プロペプチダーゼによって成熟型に処理されます。また、RAP (受容体関連タンパク質) にも結合できます。SorLA は、リポタンパク質およびプロテアーゼの取り込みに重要な多機能エンドサイトーシス受容体です。除去される N 末端プロペプチドは、フューリンまたは相同プロテアーゼによって切断されます。内因性 SorLA は、神経ペプチドヘッドアクティベーター (HA) に結合し、HA のシグナル伝達と機能に重要です。このタンパク質をコードする遺伝子は、染色体 8p23.1 にマップされます。SorLA は主に脳 (大脳皮質、小脳、後頭極) で発現しますが、肝臓、脊髄、腎臓、精巣、膵臓にも存在します。

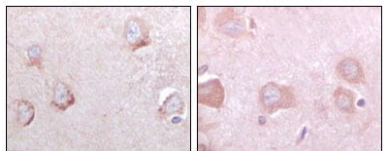
## 研究分野

-

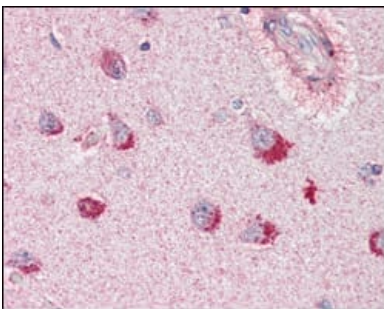
## 画像データ



SORL1 マウス mAb (緑) を用いた PANC-1 細胞の共焦点免疫蛍光染色。赤: アクチンフィラメントを Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。



DAB 染色による SORL1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト大脳組織の免疫組織化学分析。



SORL1 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト脳皮質組織の免疫組織化学分析。